

## 令和3年度事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

- ・当協会の事業は令和3年度事業計画に基づき、以下のとおり実施された。

### 1 植物検疫に関する知識の啓発

#### (1) 全植検協通報の発行

- ・全植検協通報の第135号(令和3年4月1日)から第138号(令和4年1月1日)まで、毎月3か月各号310部を作成して会員及び関係官庁へ配布した。別途、一部の地域協会等に希望に応じて各号779部を頒布した。

#### (2) 植物検疫くん蒸安全旬間事業の支援

- ・「植物検疫くん蒸安全旬間」(11月1～10日)の行事について、地域協会が主体となって実施する地域が多いことから、当協会は、令和3年度も例年通り植物検疫くん蒸安全旬間ポスターを作成し、各地域協会等に頒布した。
- ・令和3年度ポスター図案について、当協会は、全国の植物検疫関係官庁、団体等に募集案内(令和3年6月15日付文書)を行い、9月8日に同図案選考委員会を開催して95点の応募作品の中から最優秀作品(1点)を選考・決定した。更に、各地域協会と連絡をとってポスターの必要数を集計し、10月中旬に858枚(前年882枚)を印刷・頒布した。

#### (3) 当協会ホームページ(HP)の運営

- ・HPで当協会の活動、植物検疫情報等につき広報を行っている。主な内容は、全植検協の概要、事業案内、出版物一覧、植物検疫情報、定款・会員名簿、役員名簿、財務諸表、輸出用木材こん包材消毒証明等に関するものである。また、植物検疫・植物防疫に関する各種の催しの案内など常に新しい情報の掲載に努めた。更に、昨年度から取り組んでいる「輸出先国の規制に係る産地への課題解決支援委託事業」のバナーを設け、本事業に関する情報を提供した。
- ・HPのトップページに検索機能を設け、利用者の利便を図った。
- ・「お問合せ」コーナーでは、輸出入関係者等から照会メールを受信しているが、その都度、照会内容に応じてメール返信又は電話回答を行った。
- ・日本産農産物の輸出を支援するため、当協会のHPを利用し、植物検疫条件等の情報を提供した。

#### (4) 植物検疫に関する照会に対する応答及び指導

- ・輸出用木材こん包材の消毒証明制度や諸手続、輸出入検査制度や諸手続、検疫病虫害の追加指定に関する規則改正等について、電話照会・相談等が週10件前後の頻度で通年寄せられている。それらの照会等の中で、特に会員関係者からは輸出用木材こん包材の消毒証明制度や諸手続等について、また、一般業者・個人からは輸出入植物検疫の受検要否や輸出検疫証明書の発給等について問合せが多かった。前者に対しては具体的に説明し、後者に対しては制度と手続等を説明するとともに、課題解決支援事業を利用した専門家派遣制度等を案内した。

### 2 植物検疫に関する情報並びに資料の収集、整理及び提供

輸入植物検疫実績の収集、整理及び配布

- ・植物防疫所「輸入植物検疫統計」（2020年1～12月）、地域協会集計資料等を基に地域植物検疫協会別の輸入植物検疫数量に関する集計整理を行い、全植検協通報第137号（令和3年10月1日発行）に掲載した。

### 3 植物検疫に関する官公署及び団体との連絡及び協調

#### (1) 植物検疫に関する農水省通達等の伝達

- ・植物検疫に関する法令規則、通達、公聴会公示、農水省連絡文書、説明資料、木材こん包材規制等に関する情報等を会員に配信し、周知徹底に努めた。

#### (2) 植物防疫関係官庁及び団体等との連絡及び協調

- ・植物検疫関係団体事務連絡会等にオンライン参加し、農業政策・植物防疫等に関する諸情報の入手・連絡・協調に努めた。具体的には、報農会（植物保護ハイビジョンー2021）及び日本植物防疫協会（日植防シンポジウム）主催の会合はWeb方式等で開催されたことから傍聴参加し情報収集に努めた。また、植物防疫団体総務連絡会は書面により情報交換が行われた。なお、例年開催されている農蚕園芸団体連合会（農団連）の会合は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催見送りとなった。

### 4 植物検疫に関する印刷物・図書の作成刊行

#### (1) 既刊図書の頒布

- ・「輸出用木材こん包材の消毒証明マニュアル」（平成28年版）（21部・累計768部）
- ・「輸出用木材こん包材の消毒証明マニュアル」（令和4年版）（68部・累計68部）
- ・「資料 植物検疫統計この10年」（平成25年版）（2部・累計185部）
- ・「日本の植物検疫」（平成23年版）（3部・累計192部）
- ・「資料 検疫有害動植物」（平成24年版）（2部・累計313部）
- ・「植物防疫関係法令通達集」（平成20年版）（1部・累計208部）
- ・「植物検疫関係法令英文」（平成21年版）（1部・累計90部）
- ・「資料 検疫有害動植物・非検疫有害動植物」（平成28年度改正版）（3部・累計38部）  
国立国会図書館から、「検疫有害動植物・非検疫有害動植物」（平成28年度改正版）及び「輸出用木材こん包材の消毒証明マニュアル」（平成28年版）の納入依頼があったことから、両書籍を同館に寄贈した。

### 5 植物検疫業務の円滑な運営に資する委員会の開催

#### (1) 令和3年度植物検疫くん蒸安全旬間ポスター図案選考委員会

令和3年9月8日に標記委員会を千代田区鍛冶町で開催した。全国の植物検疫関係者から応募のあった図案作品95点（内訳：植物検疫協会57点、植物検疫防除業会38点）を対象に標記委員会で最優秀作品1点、優秀作品1点及び入選作品10点を厳選した。選考の結果、九州植物検疫協会 小山剛氏の作品が最優秀作品に選ばれ、令和3年度の植物検疫くん蒸安全旬間ポスター図案に採用された。

#### (2) 輸出用木材こん包材に関する検討委員会

令和3年11月11日、業務委託契約を結ぶ地域協会等の担当者が参加し「輸出用木材こん包材の消毒証明マニュアル」の改正を行うため、標記委員会を開催した。

#### (3) 業務企画委員会

令和4年2月、標記委員会を書面協議により行った。議題及び答申内容は次のとおり。

- ① 令和3年度事業報告及び決算報告（見込み）に関する件  
本件は一部加筆・修正を行い理事会に提出することが了承された。
- ② 令和4年度事業計画及び収支（増減）予算書（案）に関する件  
本件は修正を要する意見はなく、原案どおり理事会に提出することが了承された。
- ③ 「一般社団法人全国植物検疫協会会費及び賛助会費徴収規程」の一部改正に関する件  
本件は一部加筆を行い理事会に提出することが了承された。

## 6 植物検疫に関する研修会等の開催

### (1) 令和3年度植物検疫全国研修会

令和4年2月上旬に研修会の開催及び現地見学会(羽田空港)を計画したが、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ対面での開催を断念し、動画配信とテキスト作成に変更した。動画は当協会ホームページの会員専用サイトに掲載し、視聴できる環境を整えた。話題提供は次のとおり。

「輸出用木材こん包材の熱処理技術の理論と実際」

農林水産省横浜植物防疫所調査研究部次席調査官 安達浩之氏

「諸外国における米麦の積地検査」

海外貨物検査株式会社(OMIC)食糧部 岡本英利氏

「侵入警戒調査における重要病害虫発見時の対応事例  
-沖縄県のカンコミバエを中心に-

沖縄県植物防疫協会 安田慶次氏

### (2) 令和3年度神戸支部検疫研究会

今年度の支部研究会は、令和4年2月17日オンラインにより開催した。話題提供は次のとおり。

「植物検疫を巡る最近の状況」

農林水産省神戸植物防疫所業務部

統括植物検疫官（総括及び本船貨物担当） 石川智基氏

「神戸港における植物検疫の状況」

神戸植物防疫所業務部次席植物検疫官 森本 圭氏

### (3) 令和3年度海外植物検疫事情調査研修事業（神戸支部）

今年度の研修事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送った。

## 7 植物検疫に関する受検体制の整備

### (1) 輸出盆栽に添付する標識の作製及び頒布

- ・EU向け五葉松等特殊盆栽用標識は、EU植物検疫要求に基づき義務的措置として使用されている。令和3年5月20日付で横浜植物防疫所から依頼を受けて、EU向け五葉松等特殊盆栽用標識26,966枚(前年18,400枚)を作製し、令和3年7月19日付で全国19都府県(福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、長野、愛知、静岡、三重、大阪、兵庫、奈良、香川、愛媛、福岡、熊本)の盆栽生産者86名に配布した。

### (2) 輸出用木材こん包材証明業務の円滑な実施

#### ① 消毒証明実績

- ・平成18年7月以来、中国等から消毒処理表示スタンプに加えて当協会の証明書が求められた場合や、豪州等から独自基準による証明書の要求があった場合に、当協会様式

の「消毒証明書」を発給している。令和3年度の消毒証明書発給実績は、29,890件(前年同期比109.3%)であった。国別内訳は、中国13,510件(全体比45.3%)、オーストラリア695件(2.3%)、EU1,079件(3.6%)、ニュージーランド113件(0.4%)、インドネシア3,599件(12.0%)、その他10,894件(36.4%)であった。

#### ②認定消毒実施者の認定状況

- ・認定消毒実施者の新規認定、認定内容変更等については、申請提出の都度、消毒施設調査資料等に基づき審査し結果を通知した。令和3年度(令和4年3月31日現在)の認定消毒実施者は、熱処理：312事業者(対前年6増)、くん蒸：22事業者(前年同)、合計334事業者(対前年6増)である。

#### ③登録こん包材生産者の登録状況

- ・登録こん包材生産者の新規登録、登録内容変更等は、申請が提出された都度、調査資料等に基づき審査し通知した。令和3年度(令和4年3月31日現在)までの登録こん包材生産者は、1,561事業者(対前年12減)である。

#### ④内部監査実施概要

- ・輸出用木材こん包材の消毒認定・登録事業(令和2年度)に関する内部監査は、当協会神田本部事務所(令和3年11月22日)及び(一社)日立港植物検疫協会(11月19日)を対象に実施した。

[監査結果] 令和2年度事業は「要領」、「細則」及び「業務仕様書」を遵守し、適切に運営及び管理されていた。

### (3) 「令和3年度輸出先国の規制に係る産地への課題解決支援委託事業」(農林水産省からの受託)の実施

- ・令和3年4月1日 農林水産省と委託契約、相談窓口を設置
- ・令和3年4月15日 専門家選定委員会及び有識者検討会を開催
- ・令和3年4月20日 農林水産省へ事業計画書を提出
- ・令和4年3月16日 事業終了(報告書及び事例集発行)

#### (主な実績)

全国10ブロック、17カ所に相談窓口を設置するとともに、85名の専門家を登録し支援体制を整備。チラシ(2.3万枚)やホームページ等により周知を行っている。相談者が抱える課題等について聞き取り作成したカルテ155件。これらのうち、31件の産地等に対し延べ83名の専門家が産地等に出向いて、或いはオンラインにより技術的支援を行った。このような取り組みの結果、26産地から農産物が輸出された。

## 8 その他協会の目的を達成するために必要な事業

### (1)新公益法人制度に基づく手続

令和3年6月15日 内閣府に令和2年度公益目的支出計画実施報告書を提出した。

令和3年6月17日 内閣府からの修正依頼に対し、実施報告書を再提出した。

### (2)功労者及び永年勤続者の表彰

- ・第10回定時社員総会(令和3年6月、書面)で、次の13名の方々が、当協会の功労者及び永年勤続者として表彰され、賞状及び記念品が授与された。

[功労者：感謝状](5名)

大杉 誠 氏 (東海地区植物検疫協会 会長)

田邊 秀洋氏 ((一社)神戸植物検疫協会 前会長)

本間 常悌氏 ((一社)新潟植物検疫協会 前会長)

上村 宏 氏 ((一社)大阪植物検疫協会 前会長)

五十嵐義一氏 (大阪木材検疫協会 元会長)

[永年勤続：表彰状] (8名)

更山 修一氏 (直江津港植物検疫協会)

佐藤 敦子氏 (直江津港植物検疫協会)

高橋 信弘氏 ((一社)石巻植物検疫協会)

大隅 正知氏 ((一社)神戸植物検疫協会)

青木 一弘氏 (横浜植物防疫協会)

下山 弘之氏 (横浜植物防疫協会)

上野 吉一氏 ((一社)室苦植物検疫協会)

西村 洋一氏 (東京植物検疫協会)

### (3) 植物検疫に関する説明会等への出席

令和3年9月17日、オンライン形式で農水省植物防疫課主催「令和3年度国際植物防疫条約に関する国内連絡会」が開催され、当協会から神戸支部の阪村氏が委員として出席した。同連絡会では、①ISPM案「植物検疫措置のための品目基準」、②ISPM12「植物検疫証明書」の再輸出に関する改正、③ISPM案「植物検疫における監査(Audit)」、④ISPM5「植物検疫用語集」の改正、⑤ISPM28「規制有害動植物に対する植物検疫処理」の付属書について議論された。主催者から本会議での議論を踏まえ、9月末日までにIPPC事務局へコメントを提出する旨の説明があった。

### (4) 植物検疫に関する公聴会への出席

#### ①トルコ産オレンジ等の生果実及びアメリカ合衆国産にほんすももの輸入解禁について

令和3年6月24日、オンライン形式により「植物防疫法施行規則の一部改正等に関する公聴会」が開催され、当協会から専務理事が参加し、規則改正に賛成の立場から意見を公述した。規則改正の内容は、トルコ産オレンジ等の輸入解禁及びアメリカ合衆国産にほんすももの輸入解禁に係る植物検疫条件を制定するため、省令改正及び告示制定等を行うもの。なお、アメリカ合衆国産にほんすもものについては令和3年8月19日に、トルコ産オレンジ等については令和3年8月31日に関連する植物防疫法施行規則等の一部改正が行われた。

#### ②植物防疫法施行規則の一部改正等に係る公聴会

令和4年2月8日、中央合同庁舎4号館(千代田区霞が関)において「植物防疫法施行規則の一部改正等に係る公聴会」が開催され、当協会から専務理事が参加し、規則改正に賛成の立場から意見を述べた。規則改正の主な内容は、検疫有害植物1種の追加、栽培地検査要求病害虫の発生地域及び寄主植物の変更等。なお、本改正案は令和4年3月22日に公布され、翌23日に施行された。

### (5) JEVIC との委託業務について

当協会の賛助会員である日本輸出自動車検査センター(JEVIC)と業務委託契約を結んでいるニュージーランド(NZ)向け中古自動車に係るサーベイランス業務(輸出自動車が蔵置されているコンテナヤード周辺の害虫(特にカメムシ類)調査及びJEVICへの結果報告)については、今年度も横浜港、名古屋港、大阪港及び門司港において継続して実施した。

(6) 包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業に関する研究推進委員会

臭化メチルの代替の消毒方法の確立及び安全性確保のため、昨年度から臭化メチルの安全性の向上に係る研究（一般財団法人残留農薬研究所）が進められている。令和3年6月25日及び令和4年3月2日、同法人において研究推進会議が開催され、当協会の専務理事が委員として出席した（3月2日はオンライン参加）。

(7) 植物防疫の在り方に関する検討会

農林水産省植物防疫課は、病害虫の駆除・まん延防止措置や輸出入植物検疫の強化により、病害虫による農業生産の被害を防止することや輸出検疫体制の強化を図るため、本検討会を設置した。同会では現行の植物防疫の課題等を点検し、今後の我が国の植物防疫の在り方について検討され、令和3年6月30日、中間論点整理が公表された。その後、令和4年3月11日に第5回（最終回）の検討会が開催され、植物防疫法の一部改正及び予算措置等について概要説明と意見交換が行われた。なお、本検討会には当協会の花島会長が委員として議論に参加した。

## 9 役員等の異動状況

第10回定時社員総会（令和3年6月、書面開催）で、任期満了に伴う役員を選任について決議が行われ、理事17名及び監事2名、計19名が選任された。また、同総会後に臨時理事会が書面にて行われ、理事の中から会長1名、副会長2名が選定された。

役員全員の任期は、令和3年6月21日就任、令和5年6月定時社員総会の終結時満了となる。なお、令和3年9月30日、緒方監事から辞任届が提出されたことから、法人登記の手続きを行った。現在の役員名簿は、別記のとおりである。

## 10 会員の異動状況

総括表

区 分	正 会 員 数			賛助会員数	総会員数
	通常会員	特別会員	計		
令和3年4月1日現在	51	5	56	10	66
令和4年3月31日現在	51	5	56	10	66

(別記)

一般社団法人 全国植物検疫協会

役員等名簿

〔役員〕

(順不同・敬称略)

役職名	氏名	所属
会長	花島 陽治	横浜植物防疫協会会長
副会長	田邊 秀洋	東京植物検疫協会会長
副会長	吉村雅比古	一般社団法人神戸植物検疫協会会長
専務理事	君島 悦夫	一般社団法人全国植物検疫協会
理事	戸嶋 祐司	小樽石狩植物検疫協会常務理事
理事	佐藤 和也	一般社団法人宮城植物検疫協会専務理事
理事	坂牧 克記	一般社団法人新潟植物検疫協会会長
理事	今泉 榮壽	横浜植物防疫協会常務理事
理事	福盛田 共義	一般社団法人農林水産航空協会会長
理事	宮井 尚彦	東海地区植物検疫協会常務理事
理事	柳川 明	清水植物検疫協会会長
理事	大門 督幸	伏木富山新港植物検疫協会会長
理事	大隅 正知	一般社団法人神戸植物検疫協会事務局長
理事	中村 一成	一般社団法人大阪植物検疫協会会長
理事	田丸 直文	一般社団法人広島植物検疫協会会長
理事	谷 俊広	一般社団法人香川県植物検疫協会会長
理事	三苫 賢治	九州植物検疫協会常務理事
監事	櫻井 良成	一般社団法人京葉地区植物検疫協会理事長

(以上 理事 17名 監事 1名)

〔注〕 役員の任期：令和5年6月定時社員総会の終結時満了

〔顧問〕

顧問	古茶 武男	(元) 一般社団法人全国植物検疫協会副会長・専務理事
----	-------	----------------------------

## 11 会議等の開催状況一覧

### (1) 総会・理事会

会議等の種類	開催月日	開催場所	主 な 議 題
第28回理事会 (書面決議)	3. 5. 21	東京都	① 令和2年度事業報告及び決算報告に関する件 ② 第10回定時社員総会の書面決議に関する件 ③ 功労者及び永年勤続者の表彰に関する件 ④ 令和2年度公益目的支出計画実施報告書に関する件 全役員から提案どおり同意の意思表示があり、提案を可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。
第29回理事会 (書面決議)	3. 6. 7	東京都	① 令和3年度事業の執行状況に関する件 ② 任期満了に伴う役員の選任に関する件 ③ 役員の報酬に関する件 全役員から提案どおり同意の意思表示があり、提案を可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。
第10回定時社員総会 (書面決議)	3. 6. 21	東京都	① 令和2年度事業報告及び決算報告に関する件 ② 任期満了に伴う役員の選任に関する件 ③ 役員の報酬に関する件 (報告事項) ・ 令和3年度事業計画及び収支(増減)予算書に関する件 ・ 令和2年度公益目的支出計画実施報告書の提出に関する件 ・ 功労者及び永年勤続者表彰に関する件 全役員から提案どおり同意の意思表示があり、提案を可決する旨の総会決議があったものとみなされた。
臨時理事会 (書面決議)	3. 7. 1	東京都	会長、副会長及び専務理事の選任に関する件 全役員から提案どおり同意の意思表示があり、提案を可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。
第30回理事会	4. 3. 16	東京都	① 令和3年度事業報告及び決算報告(見込み)に関する件 ② 令和4年度事業計画及び収支(増減)予算書(案)に関する件 ③ 「(一社)全国植物検疫協会会費及び賛助会費徴収規程」の一部改正に関する件



## (2)委員会・研修会等

会議等の種類	開催月日	開催場所	主 な 議 題
令和3年度植物検疫くん蒸安全旬間ポスター図案選考委員会	3.9.8	東京都	植物検疫くん蒸安全旬間ポスター図案選考について
輸出用木材こん包材に係る検討委員会	3.11.11	東京都	「輸出用木材こん包材の消毒証明マニュアル」の改正について
第12回業務企画委員会（書面）	4.2.21	東京都	① 令和3年度事業報告及び決算報告（見込み）に関する件 ② 令和4年度事業計画及び収支（増減）予算書（案）に関する件 ③ 「（一社）全国植物検疫協会会費及び賛助会費徴収規程」の一部改正に関する件

## (3)令和3年度輸出先国の規制に係る産地への課題解決支援委託事業

会議等の種類	開催月日	開催場所	主 な 議 題
委託契約	3.4.1		農林水産省と委託契約
相談窓口の設置	3.4.1		全国17か所に設置
専門家選定委員会	3.4.15	東京都	運営内規の確認と専門家85名を選定
有識者検討会	3.4.15	東京都	運営内規の確認と今後の進め方を協議
事業計画書の提出	3.4.20	東京都	農林水産省へ事業計画書を提出
事業報告書、事例集等の提出	4.3.16	東京都	農林水産省へ事業報告書、事例集等を提出（事業終了）

## (4)支部関係・研修会等

会議等の種類	開催月日	開催場所	主 な 議 題
第36回横浜支部幹事会（書面）	3.11.12	横浜市	① 令和3年度上半期事業報告 ② 令和3年度上半期収支決算報告 ③ 令和4年度横浜支部の会費改定（暫定案）

第36回横浜支部全体会議 (書面)	4. 3. 15	横浜市	①令和3年度事業報告及び令和3年度収支決算報告(見込み) ②令和4年度事業計画(案) ③令和4年度収支予算(案)
第35回神戸支部総会 (書面)	3. 5. 14	神戸市	①令和2年度事業報告及び決算報告に関する件 ② 令和3年度会費徴収案に関する件 ③ 役員の改選に関する件 ④ 令和3年度事業計画並びに収支予算案に関する件(説明事項) 全委員、全会員から賛成の意思表示があり、提案を可決する旨の決議があったとみなされた。
神戸支部事務局責任者連絡会	3. 11. 5	神戸市	① 令和3年度上半期(4～9月)収支(増減)状況報告 ② 令和3年度収支(増減)決算書案(見込み) ③ 令和4年度会費徴収案 ④ 令和4年度収支(増減)予算書案 その他

(5)農林水産省主催・その他会議

会議等の種類	開催月日	開催場所	主 な 議 題
植物防疫の在り方に関する検討会 (植物防疫課主催)	3. 3. 26	東京都 (オンライン)	①植物防疫をめぐる状況の変化と課題 ②病害虫の発生予防。駆除・まん延防止措置 ③輸出入検査等の植物検疫措置 ④中間論点整理案の検討 ⑤植物防疫法の一部を改正する法律案 ⑥総合的な防除推進のための主な予算
	3. 4. 27		
	3. 5. 28		
	3. 6. 30		
	4. 3. 11		
植物検疫に関する公聴会 (農林水産省主催)	3. 6. 24	東京都 (オンライン)	①トルコ産オレンジ等の輸入解禁 ②アメリカ合衆国産にほんすももの輸入解禁

<p>令和3年度国際植物 防疫条約に関する 国内連絡会 (植物防疫課主催)</p>	<p>3.9.17</p>	<p>東京都 (オンライン)</p>	<p>①ISPM案「植物検疫措置のための品目基準」 ②ISPM12「植物検疫証明書」の再輸出に関する改正案 ③ISPM案「植物検疫における監査(Audit)」 ④ISPM5「植物検疫用語集」の改正案 ⑤ISPM28「規制有害動植物に対する植物検疫処理」の付属書案 主催者から9月末日までにIPPC事務局へコメントを提出する旨の説明があった。</p>
<p>植物検疫に関する公 聴会 (農林水産省主催)</p>	<p>4.2.8</p>	<p>東京都</p>	<p>植物防疫法施行規則の一部改正等</p>